

校種		小学校	利用人数		28人		平成23年度教員免許状更新講習 国立赤城青少年交流の家	
プログラム名(テーマ)		みんなで赤城にチャレンジ						
目指す児童・生徒像		・多少困難なことにも友達と話し合い、助け合い、協力し合って乗り越えられる心身共にたくましい児童 友達のよさを素直に認め、自分のよさにも気づける児童						
	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1日目			○出発式→8：20 目標を確認し、志気を高める。 ○バス移動→レク係によるレク。 途中、ビジターセンターにより、トイレを済ませる。 ○地蔵岳登山→10：00 小沼までバスで行き、降車後トイレを済まして、登山口まで歩く。登山口でケガ防止のためストレッチをする。一列でゆっくり歩く。 途中で2回休憩して景色を楽しむ。休憩の際は、水分の補給をさせ、あめ玉1個を配って気持ちにゆとりを持たせる。 山頂でゆっくり休憩（おやつでエネルギー補給）し、山頂からの景色（大沼、小沼、覚満淵、見えれば富士山など）を堪能する。 記念写真を撮る。 下山、途中で1回休憩。登山口に着いたら、健康観察をし、ストレッチで体をほぐす。 登山口から小沼周辺まで歩き、小沼で班毎に昼食を食べる。 ＊雨の場合は、ぐんまフラワーパーク見学。（予め、減免申請をしておく。）	小沼周辺で、各自持参のお弁当 12:00	○バス移動（ビジターセンターへ） ○覚満淵散策→13：30 木道をゆっくり散策しながら、地形の特徴、自然や生き物などについて、「発見カード」に記録していく。 グループ写真撮影。 ○バス移動（赤城青少年交流の家へ） ○入校式→15：00 2泊3日の集団での生活が始まる意識を持つ。 オリエンテーション →施設使用上の注意や赤城周辺の環境等について知る。 ○荷物整理→15：30 シーツ等の準備や非常口の確認。各自の荷物の整理、休憩。 （キャンプファイヤ後が忙しいので、布団を敷き2つ折りにしておく。入浴準備もすませておく。） （キャンプファイヤーの準備） ○タベのつどい→17：00 （つどいの広場） ＊雨の場合も覚満淵散策は実施する。	バイキング 17:30 （食堂）	○キャンプファイヤー→18：20（営火場） ＊キャンプファイヤー係は18：00より準備 ＜儀式的な部分＞ ・18:20 係が先導して入場、隊形を作ったら歌（遠き山に日は落ちて） ・火の子を従えて火の神入場～火の神のことば（火の持つ意義や自然の偉大さ、人生観など） ・分火（火の子はトーチを持って、めあてに関わる約束を1つずつして神から火を移してもらう。） ・点火（火の神の点火の合図によって、火の子は、跪いて井げたに点火する。） ・歌（「燃えろよ燃えろよ」 ＜親睦的な部分＞ 座る。 ・花火～キャンプファイヤー係による花火で第2部の雰囲気作りをする。 ・班の出し物（1）～1班、2班 ・ゲーム～「猛獣狩り」（キャンプファイヤー係） ・班の出し物（2）～3班、4班 ・フォークダンス～「マイムマイム」「ジェンカ」 ・花火～みんなで花火 ・歌（（「今日の日はさようなら」 ・フィナーレの言葉～退場 ＊キャンプファイヤー係は、片づけをする。 ＊雨の場合は、キャンドルファイヤー（AH） ○入浴→19：40 ○健康観察・反省会→20：20（部屋毎） ・検温をし、健康観察する。 ・各自が1日の活動を振り返り、日記を書く。 ・部屋全員で反省会。 ○就寝→21：30	
			めあて：赤城の自然に親しみ郷土愛を深めると共に、みんなで山を踏破することの達成感を共有し、集団の仲間意識を持てるようにする。 留意点：・バス降車前に身支度の確認をする。 ・必要に応じて、虫除けスプレーや日焼け止めを使用させる。 ・ケガ防止のために、健康観察やストレッチを入念に行う。登山に際しては、開始直後は特にゆっくりペースで進み、途中で十分な休憩をとるようにする。 ・体力面やその他で心配のある児童は先頭部分でスタートさせる。 ・指導者は、先頭・中・後尾に配し、支援の必要な児童には1対1対応する。	留意点：ゴミを落とさない。自然の雰囲気を大切にすする。班の仲間と食べる。	めあて：湿原独特の地形・植物・気候などを味わい、バーウォッチングなどを楽しむ。 入校式では、家庭と離れ2泊3日の集団宿泊体験学習が始まるという意識を持たせ、様々なことにチャレンジしていこうという気構えをもたせる。 留意点：・自然に対する配慮事項と一般観光客への配慮事項をマナーとして守らせる。 ・各班毎に「発見カード」を持たせて、「元南小周辺との違い」や「見つけた生き物」「おもしろいもの」などを記録させて、積極的に覚満淵散策ができるようにする。 ・荷物整理が終わったら、弁当のゴミや残りを回収する。 ・タベのつどいでは、自校以外の仲間もいることを意識させ、積極的に接することができるようにする。	留意点：手洗いをしっかりとさせる。自分の健康は自分で作る意識でとりわけさせる。 630円	めあて：①厳粛な雰囲気の中で、これから始まる宿泊体験の様々な場面で、友達と協力して精一杯力を発揮し絆を深めることを意識づける。②非日常の中で、みんなで歌・ゲーム・フォークダンスや班毎の出し物を楽しみ、親睦を深める。 留意点：儀式的場部分と親睦的な部分を作り、キャンプファイヤーのめあてを達成できるようにする。班の出し物は、事前に5分以内、小さな物や動きのものはさける、機材や道具を余り使わない、みんなが楽しめる、の条件で相談させておく。 費用：薪1束1000円、トーチ棒セット200円、灯油1リットル100円、花火1500円	
2日目	○起床→6：00 ○洗顔・身支度・健康観察 ○朝のつどい→7：10（つどいの広場）	バイキング 7:30 （食堂）	○清掃→8：10 ○AAP（あかぎアドベンチャープログラム）→9：00～12：00（多目的フィールド、PAロープスコース等） ・様々なゲームや活動を通して、仲間のコミュニケーション力を高め協調性を学び、自己概念を向上させる。 アイスブレイク～ローエレメント～イニシアティブエレメント ＊雨の場合は、屋根付き広場で活動。 PAロープスコースでの活動ができない場合は、クップをする。	バイキング 12:30 （食堂）	○あかぎウォークラリー→13：50～16：00（つどいの広場集合、赤城青少年交流の家周辺） ・交差点などを記載したコース地図と（コマ図）を持ち、設定時間内に走破する。 途中、指令書に従い、仲間と協力し合ってCPの問題を解いていく。 ・つどいの広場をスタートする。 ＊スタートは、ネイチャーゲームをして合格した班からスタートする。 ・ゴールした班から、振り返りをする。 ＊雨天決行 ○部屋で休憩、風呂準備等16：15～16：50 ○タベのつどい→17：00（つどいの広場）	バイキング 17:30 （食堂）	○むささび見隊→18：20～19：40 ・むささびの生態について映像を交えた説明を受けた後、日没後にむささびが巣を飛び立つ様子を観察する。 ・昼間活動した森と夜の森の様子の違いや赤城の夜空等にもふれる。 ○入浴→20：00 ○健康観察・反省会→20：40（部屋毎） ・検温をし、健康観察する。 ・各自が1日の活動を振り返り、日記を書く。 ・部屋全員で反省会。 ○就寝→21：30	

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
2日目	めあて：1日の始まりをみんなで気持ちよく迎える。 留意点：・出会った人たちに気持ちよくあいさつし、さわやかに1日のスタートがされるようにする。 ・部屋からの移動は、部屋毎に自主的に整然とできるようにする。	410円	めあて：・活動を通して、仲間とコミュニケーションを高め、協調性や互いの信頼関係を身につけ、良い人間関係を作る。また、自己概念を肯定的なものへと変容させ、自信を付ける。 班編制：2班編制、男女混合の班で、普段の生活で親し過ぎる者同士は同じ班にならないようにする。 留意点：・宿泊体験前事前指導の際に、P Aでは、『お互いの努力を最大限評価し合う』という約束を確認しておく。 ・困難な場面で児童自身が気づき、考え、話し合い、協力し実行していけるように、教師は口出しせずに見守るようにする。 費用：プログラムに必要な用品類は借用する。 講師2名依頼 8000円×2＝16000円 (但し、1名分は事前に市教委の「自然体験活動支援事業」に申請する。) お茶 150円×32＝4800円 クップの場合は、用具を借り、レクチャーを受ける。	520円	めあて：P Aで学んだコミュニケーション力や協調性、仲間への信頼感、自信等を発揮して、自然を楽しみながら、課題に挑戦し、クリアする。 班編制：男女混合、5班編制。1班5～6名。班のメンバーは、その場で発表する。班内の係（地図、時計、記録、保健など）はその場で相談させる。 指導者：交流の家所員の指導を受け、教員が指導する。 留意点：・安全確保のための注意をする。 ・「葉あわせ」のネイチャーゲームし、合格した班から、地図・指令書を渡し、3分間隔でスタートさせる。 ・教員はスタート地点と、1番目の班の近く、3番目の班の近く、5番目の班の後ろに配置する。 ・時間の制限はあるが、偶然や他の班のヒントでクリアするよりも、地図と指令書を読み取り、班のメンバーで協力してクリアした方が遙かに充実感や達成感が得られることを話しておく。 ・ゴールした班から、活動中のメンバーのファインプレーをあげさせ、互いに認め合う場を作る。 費用：指令書・ゼッケンは借用し、レクチャーは受けるが、講師の依頼はしない。ペットボトルなし。(班毎に森に入るので、緊急時に備えて水筒に水を入れて持たせる。) 〇円	630円	めあて：二日間親しんだ赤城の夜の様子や象徴的な生き物であるむささびの生態について知り、赤城の自然への親しみや理解を深める。 班編制：適した数よりも多くなってしまうが、学級を二分して前半・後半で分け、一緒に活動する。 指導者：交流の家所員の指導を受け、教員が補助する。 留意点：・むささびがいなくてもあり得るが、映像で学習したり、むささびの巣を観察したりして、むささびの住む環境について考えさせる。 ・静かな山の夜の雰囲気を楽しむと共に、それを損なうことの内容に注意する。 費用：懐中電灯・雨具は各自用意する。 〇円	
3日目	○起床→6：00 ○洗顔・身支度・健康観察 ○朝のつどい→7：10 (つどいの広場)	バイキング 7:30 (食堂)	○清掃→8：10 ○荷物整理・移動→8：40 ○野外炊事→9：00 ・玄関前集合、集合写真撮影、移動。 ・交流の家所員の説明を受ける。 ・米とぎ班、野菜切り班、かまど班に分かれて、細かい注意（場所や数、使い方など）を聞いてから、炊事班毎に相談しながら作業する。 ・11：30後片づけ	野 外 炊 事 で カ レ ー 11:00	○休憩→12：30 ○ボランティア活動（交流の家内外の清掃活動・施設の整備）→ 12：30～13：30 (交流の家及びその周辺) ・青少年交流の家内及びその周辺の清掃活動、ゴミ拾い等、要請のあったものを行う。 ○退校式→14：00 2泊3日で成長した部分を振り返り、感謝の気持ちを持つ。 ○バス移動 ○学校着・解散式→ 15：30 ・宿泊体験学習を無事終えたこと、そこで得たことを振り返り、学校の人や家の人に報告する。			
	めあて：1日の始まりをみんなで気持ちよく迎える。 留意点：・出会った人たちに気持ちよくあいさつし、さわやかに1日のスタートがされるようにする。 ・部屋からの移動は、部屋毎に自主的に整然とできるようにする。整列も自主的にし、他の団体の手本となれるようにする。	410円	めあて：2泊3日で学んだ仲間とのコミュニケーション力や主体性、協力や協調、互いを認め合う事などを全て発揮して、みんなで楽しくカレーを作り、おいしく食べる。 班編制：7～8名の4班編制。 (カレーの材料の人数分に合わせる。) 指導者：交流の家所員の説明を受け、教員が見守る。 留意点：・集団づくり、人間関係づくりのための体験学習のまとめにあたるので、教員は、①安全確保に関わること。②作業に必要不可欠なものと約束 以外は、説明や注意をなるべくせず、児童に考えさせ相談させるようにする。 費用：児童28＋教師4＝32 32人分 カレーライス8人セット4240円×4＝16960(円) ペットボトル茶150×32＝4800(円)	1人分 680円	めあて：様々な体験を通して自分たちを成長させてくれた赤城の自然や交流の家、所員の方々に感謝の気持ちを込めて、清掃活動する。 班編制：作業内容や場所に合わせて、班編制をする。 指導者：作業内容や場所、用具等について、説明はするが班毎に相談・活動させ、教員は見守る。 費用：0円 清掃用具は借用する。軍手は野外炊飯時に使用した各自の軍手を使う。			

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。